特攻の先にあったもの 現在、そして未来

明日を生きようとしても
生きることができない時代があった
それを忘れないでほしい

戦後80年　犬山市特別企画

知覧特攻平和会館展

2025年7月17日（木）～19日（土）

【会場】犬山市南部公民館

特別展示
7月17日(木)午後1時～19日(土)午後5時
〔18・19日は午前10時から午後5時まで。最終入場は午後4時45分〕

記念講演
7月19日(土)午後2時～午後3時30分

入場無料

記念講演の聴講には、7月2日(水)までに事前申込が必要です（応募者多数の時は抽選）
申し込みは犬山市役所企画広報課へ。詳しくは市ホームページをご覧ください。

申し込みはこちらから

主催　犬山市 【担当】企画広報課　電話 0568-44-0312 ／ E-mail 010100@city.inuyama.lg.jp
協力　知覧特攻平和会館・鹿児島県南九州市

特攻の先にあったもの 現在、そして未来

鹿児島県南九州市にある知覧特攻平和会館には、1,036 名の特攻隊員の遺影や遺書など特攻に関する史料が多く保存、展示されています。

この知覧特攻平和会館の初代事務局長であったのが、犬山市出身の故板津忠正氏です。

板津氏は、自らも陸軍特攻隊員として知覧飛行場から出撃しましたがエンジントラブルで徳之島に不時着、その後知覧飛行場に戻って終戦を迎えました。終戦直後から名古屋市役所に勤務する傍ら、特攻慰霊の旅を始め、昭和 36(1961)年以降は慰霊の旅に遺影・遺書集めが加わり、退職後は特攻慰霊・資料収集に専念しました。

特攻という史実に向き合い、改めて「平和の尊さ・すばらしさ」「家族愛」「親子の絆」を感じてほしいとの思いから、戦後 80 年が経過した今年、犬山市は、知覧特攻平和会館、南九州市の協力のもと「特別企画　知覧特攻平和会館展」を開催します。

隊長の指示を受ける特攻隊員

特別展示　7 月 17 日(木)～19 日(土)

＜南部公民館　1 階　展示室 1 ＞

学芸員による展示の見どころ紹介　【予約不要】
7 月 19 日(土)　午後 4 時～／午後 4 時 30 分～

▼パネル展示

知覧特攻平和会館所蔵の本土最南端の特攻基地であった知覧飛行場の紹介、特攻に至る経緯などが説明された「特攻の概要説明パネル」、出身地や特攻隊員ごとに、遺影、遺書等の紹介がある「特攻隊員パネル」等のほか板津氏が所蔵しているパネルも展示予定。

▼動画上映

知覧特攻平和会館エントランスで上映中の「知覧飛行場の歴史」をショートバージョン（短縮版）に編集した動画（約 7 分）を上映。

展示パネル（イメージ）

記念講演　7 月 19 日(土) 午後 2 時～午後 3 時 30 分（開場：午後 1 時 30 分）

＜南部公民館 講堂＞

事前申込必要　〔定員　市民 300 人〕

■申込受付は 7 月 2 日(水)までに企画広報課へ。
■①氏名・②年齢・③住所・④電話番号（日中連絡がとれる番号）を、「電話」「E-mail」「専用フォーム（表面下部）」のいずれかで。

▼朗読：特攻隊員の遺書

朗読ユニット　まどか

平成 8 (1996)年より市内で活動する朗読ユニット。平成 30(2018)年から毎年 8 月にシンエイライフ犬山ライブラリー（市立図書館）で平和祈念朗読会を開催。

▼講演：『1036 -英霊よ安らかに-（エピソード）』

板津　昌利 氏

“特攻を風化させてはならない”という父（板津忠正氏）の意思を受け継ぎ，父の生きざまを通して、戦争のない、平和な世の中の大切さを伝える活動を展開。犬山市出身。

▼講演：『知覧にのこる「特攻の記憶」』

八巻　聡 氏（知覧特攻平和会館学芸員）

特攻隊員の遺品等の収集や板津忠正氏をはじめ元特攻隊員への聞き取り調査にも従事。講演中、当館が戦後 80 年を迎え特攻関係者の証言映像を用いて制作したドキュメント映像「特攻の記憶」を館外初上映。

知覧特攻平和会館
←館内の様子
↓会館正面

会館ＨＰは
こちらから

会場　犬山市南部公民館（犬山市羽黒摺墨 11 番地）※本催事内容のお問合せは企画広報課（電話 0568-44-0312）まで